

# 尚徳

学校便り「尚徳」9月号  
第470号

鳥取大学附属小学校

平成23年9月21日

<http://www.fuzoku.tottori-u.ac.jp/~fusho/>

題字「尚徳」は、住川英明教授（地域学部）



## ようこそ附属小学校へ～春川教育大学附設初等学校訪問団

### 校長 小枝 達也

あつという間に夏休みが終わりました、今年の夏休みは、附属小学校の子どもたちはどんな思い出が残ったのでしょうか？

さて、去る7月21日に韓国の春川教育大学附設初等学校の金貞淑校長、韓萬植教頭先生、金敬晩先生（国際交流担当）の3名の先生が本校を訪問されました。国際交流の一つとして平成8年度から行っている姉妹校交流としての訪問です。これまで、本校と春川教育大学附設初等学校とは隔年にお互いの学校を訪問し合ってきました。昨年度は44名の親善大使を派遣し、文化交流や体験学習、ホームステイなどを行って、親善を深めました。国際親善意識を培うには、直接の交流に換えられるものはないと思っています。

そして、今年度は韓国から親善大使60名をお迎えする予定でした。しかし、3月11日の東日本大震災と福島原発問題が起き、韓国の保護者の心配が高まってきたため、子どもたちの訪問は取りやめということになりました。しかし、子どもたちはきっと訪日を楽しみにしていたのでしょう。そうした子どもたちの思いを金校長先生たちが替わりに届け

ていただきました。せっかくの訪問ですので、本校の授業を見ていただき、夏休み前の全校集会にも参加していただきました。

本校の子どもたちは、考えを言葉で伝える力があること、先生の話をしっかり聞いている子が多いことなど、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。また韓国ではプールが設置されている学校は少ないようで、水泳の授業をとっても興味をもって見学しておられました。集会でも姿勢がよく、勝手に話す子が少ないこと、友達が言葉に詰まっても笑ったり、せかしたりせず、じっと待っていられることなど、とても思いやりのある様子に感心しておられました。「響き連」の和太鼓は本当にすごいと驚いておられました。

子どもたちの絵や伝統衣装の交換をいたしました。とてもきれいな男女の衣装をいただきましたので、国際理解の学習に役立てたいと考えています。

来年は7月20日に訪日して下さることになりました。ぜひ、子ども同士の交流を実現したいと願っています。その節には保護者の皆様にお世話になることと思います。どうぞよろしく願いいたします。



春川教育大学校附設初等学校との姉妹校交流も今年で15年目を迎えました。

今回は日本の教育事情をしっかりと見ていただこうと、全クラスの授業を公開し、3名の先生方はつぶさに参観されました。

低学年の児童が先生の話や友達の話もしっかり聞いている姿、図工科の学習で工具を器用に操作して自分なりの作品作りに取り組む姿、道徳の授業で、児童が自分の思いをはっきりと表現している姿等、教科領域は様々でしたが、暑さに負けず真

剣に学習に取り組む附属小学校の児童の様子に大変感心しておられました。

歓迎の集会では、韓国語で「故郷の春」、日本語で「ふるさと」を合唱しました。一生懸命覚えた韓国語で歌う子どもたちを感慨深く見つめておられました。

お互いのことをより深く知り合おうというねらいで、民族衣装・教科書（低学年用）・絵本20冊・児童が描いた絵（各学年1枚）を交換しましたが、豪華な民族衣装に歓声

があがりました。教科書や絵本は図書館にコーナーを設けて展示しますので、保護者の皆様もご来校の際には気軽にお立ち寄りください。



児童同士の交流はできませんでしたが、このように交流の機会を絶やさず継続していくことが、両校の絆を深めることに繋がることを改めて感じました。15年間の交流の重みを感じます。この交流がさらに充実発展していくように努めていきたいと考えます。

